

人権のひろば

2023年7月号

目次

第152号

特別寄稿

心の現場から見えてくる「人権侵害」 中林 康子 1

エッセイ

手の中に「消しゴム」を 早瀬詠一郎 6

人権インタビュー

「こどもの心に火をつける」
そのお手伝いをすればいいんです 牛山 英一 8

第41回全国中学生人権作文コンテスト中央大会

決断 上原 美春 14
知ること、考えることは守ること 小関ソフィア 16

憲法と人権

信教の自由 植野妙実子 18

委員活動

詩『生きる』をとおして人権を考える
一児童自立支援施設茨城学園での多様な人権教室の実践一 西野 則史 20

■人権東西南北／吉松 志保・澤田 尚代・大迫 みちよ 25

医療と健康

医師になるまで、なってから 川上 一恵 28

家庭問題カウンセリングルーム

「子どもたちは本当はどうして
ほしかったのでしょうか」という母親 小峯 隆司 30

書を愉しむ

小さき者たちの 甲野 恵美 32

■国連人権理事会での動き 外務省人権人道課 33

第73回社会を明るくする運動

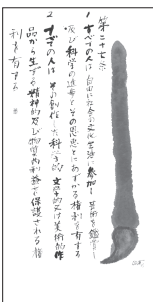
生きづらさに寄り添う「地域のチカラ」 法務省保護局 34

●全国人権擁護委員連合会の活動 36

●公益財団法人人権擁護協力会の活動 38

●法務省(人権擁護局)だより 39

●編集後記 40



表紙の説明(世界人権宣言啓発書画)

公益財団法人人権擁護協会所蔵

第27条 「筆」

芸術的な表現を象徴する筆で「誰もが芸術に接することができる」ことを表したもの

本誌の売上金は、全国人権擁護委員連合会等の活動を助成しています。